

# 行政視察内容報告書



平成 29年 2月 13日

土佐清水市議会

会派名 清友会

(提出者) 氏名 仲田 強



下記のとおり報告します。

項 目	<input type="checkbox"/> 現地調査 <input checked="" type="checkbox"/> 行政視察 <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動 <input type="checkbox"/> 研修会への参加 <input type="checkbox"/> 会議への参加
参加者	仲田 強 ・ 森 一美 ・ 浅尾 公厚 ・ 細川 博史 ・ 田中 耕之郎 計 5 人
期 日	平成 29年 1月 16日 から 29年 1月 18日 まで
【概 要】(年月日・場所・内容)	<p>○ 1月17日 大津市議会 9:30~11:30 議会BCPについて</p> <p>奈良県広陵町議員団と一緒に議場にて研修を受けた。</p> <p>大津市議会は、ICT化が進んでおり、タブレット端末やクラウドを活用した運営支援システムが整備され、ペーパーレスと合わせて、開始早々驚きもした。地方議会として初めて議会BCPの策定に至った経緯が説明された。災害時の議会のあり方や大規模災害に備えた体制整備、そしてBCPの必要性等々詳しく述べられ、平成27年3月の大津市災害等対策基本条例の制定により市との協力・連携体制が構築されたとの事である。特に、災害時には執行部の対策本部が初動及び応急対応に専念できるよう議員の行動には配慮が必要であり、その点の取り決めもしっかり記載されており、携帯ハンドブックと安否状況確認カードの議員の常時携帯など課せられている。議会人としての公務優先を確保するために、消防団や地域(町内会等)の重要なポストには就かないことなど申し合わせがなされている。本市では議場内における避難訓練を2度行ったが、大津市議会ではHUG(避難所運営)訓練を始め、タブレットを活用した災害現場との情報共有化訓練等々多岐にわたっての訓練が行われている。</p> <p>今後起きるとされている南海トラフ巨大地震に備えて、本市の議会としての業務継続計画に取り組まなければならないと痛感した次第である。</p>

○ 1月17日 18:00~20:00 土佐清水ワールド視察について

土佐清水ワールド3号店を訪問し、店長より話を伺った。盛況ぶりを目の当たりにし、株式会社ワールド・ワンの経営手腕に敬意と感謝の念で一杯となる。

店内には尾崎知事や泥谷市長、そして土佐清水市の観光ポスターや生産者の写真がいたるところに掲示され、店内の中央には、生簀が据えられており、清水鱈が泳いでいる様は、痛快である。1号店・2号店・3号店と大都市の三宮で、土佐清水ワールドの看板が掲げられていること自体、本市の発信に多大な貢献であり、地産外商の要として今後もより一層の連携を図り、活性化に繋げていきたいと心を強くした。